

令和5年9月1日

ご愛読者各位

株式会社 日本水道新聞社
代表取締役社長 篠本 勝

購読料改定のお願

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は水道公論をご愛読いただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、日本水道新聞社は令和6年4月1日より「水道公論」の購読料を、現行の月額1,527円（消費税込）を月額1,980円（同）に改定させていただきます。

弊社ではこれまで、紙面の拡充やデジタルサービスの充実など上下水道インフラの専門紙として質の高い報道へ投資を続け、読者の皆様に役立つ多様な情報をお届けできるよう努力してまいりました。

一方で、印刷用紙など原材料の急騰、印刷費、配送費等を始めとする月刊誌発行に係る諸経費の増嵩は避けられないところです。弊社といたしましても編集・製作過程の合理化など、諸々のコスト削減に努めてまいりましたが、専門報道機関の使命と役割を持続させていくため、購読料をこのたび改定させていただくことに致しました。

今後とも専門報道機関として、これまで以上に経営の合理化を図りつつ、付加価値の高い情報を発信してまいりますので、何とぞご賢察いただきまして、読者の皆様には引き続きご愛読いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

謹白

記

- ・購読料改定時期 令和6年4月1日（月）
- ・水道公論 購読料（消費税込み）

	現購読料	新購読料
1ヵ月	1,527円	1,980円
6ヵ月	9,162円	11,880円
1ヵ年	18,324円	23,760円

以上